



真龍小便り

【学校の教育目標】

☆心と体をきたえる子
☆美しい心をもつ子
☆考えて行動する子
☆生き生きと学ぶ子

No.7 令和8年9月29日発行

子どもの成長を見つめて

校長 廣瀬 巧

なんでも、海水の表面温度が上昇する影響で線状降水帯が発生するという話を耳にしました。日本各地で大雨による災害が報じられていますが、このメカニズムを元に研究を進め、発生予測の精度が上げられることをめざすそうです。かつては気象や地震など自然に関する事象の予測は難しいと言われていましたが、近年は研究が進み難しい予測が少しずつできるようになっています。科学の進歩に驚くことも多いです。

先月末には、厚岸町でも線状降水帯の影響で雷を伴う大雨に見舞われました。稲光とともに激しい雨が降りました。始業時刻を2時間繰り下げる対応となりましたが、子どもの登校時間帯はそれほどでもなかったことは幸いでした。大雨の影響で、職員室・保健室などが冠水した被害がありましたが、教室に影響はなく、職員の尽力で子どもの学びに影響が出ないようにすることができました。また、校区内に熊の出没情報が入り、再び登下校のお迎えをお願いすることとなりました。こちらは気象現象よりも予測が困難で、都度の対応が必要となります。ご家庭には、たびたびのお迎え対応をお願いすることとなってしまいました。改めまして、ご協力を賜りましたことに厚くお礼申し上げます。先日、どんぐりの実を目にしましたが、生育状況は今ひとつ小さな実なりでした。ひょっとすると今後も熊の情報が来る可能性があるかもしれませんが、できれば、熊も大雨もないことを願うばかりです。

早いもので前期が終了します。子どもたちの姿をみて、ずいぶん大きくなったなと感じることも度々あります。学習している姿のからも成長を感じることがあります。小さな声で何かいいながら考えている姿、仲間に考えを話したり相談したりする姿、テスト問題に顔を近づけて取り組む姿、教師の話をするまじきながら聞く姿……。子どもにしてみれば日常を続けているだけなのかもしれませんが、子どもの姿を改めてみるとその成長ぶりがうかがえます。このように毎年子どもは成長していくのですが、成長の断片に触れると教員としてはやはりうれしく感じます。

先日5年生の宿泊研修に一緒に行きました。宿泊研修となると気分が盛り上がり、つい大声で話したり、時間を忘れて遊んだり、という心配が少なからずあるのですが、5年生の姿にそのような心配はありませんでした。班長会議の伝達事項を部屋で伝えたり、廊下で話したりするときにも周囲にだけ聞こえるような声の大きさでした。集合の5分以上前に全員がそろって、余裕を持って行動することができていました。とても素晴らしかったです。この姿は急に求めたからと言ってできるものではありません。これまで家や学校で鍛え磨かれた力が表出したのでしょう。子どもの達の姿をとてうれしく感じたとともに、積み重ねの大切さ、求め続けることの大切さを再認識しました。

前期末には「真龍の子」(通知票)がご家庭に届きます。お子様の成長を親子で確認していただきたいと思います。機会あるごとに子どもたちには、「小さくても目標をもって生活してほしい」と言っています。目標は行動意欲です。そのために必要なことを自分がどのように取り組むのかを定める指針となります。満足感や成徳感、人に与えられるものばかりではなく、多くの場合自分が行動した結果に感じることも多いと思います。ですから、小さな達成感を積み重ねながら、成長してほしいと願います。後期は「学年が終わったらこうなりたい」という目標を定める機会となります。通知票をきっかけにして、お子様がこれからの生活を考えられるような話がご家庭でされることを願っています。

後期が始まるとすぐに学習発表会があります。この時期は子どもが1年のうちで大きく成長する時期でもあります。子どもたちの成長した姿をご覧いただけるよう、後期も教職員一同励んで参りますので、引き続きのご協力をお願いいたします。

10月の主な行事

日	曜	予定
1	木	短縮日課 交通安全指導日 読み聞かせ(3年昼真小タイム) 社会見学(2年・3年)
2	金	通常日課 講話朝会(前期終業式)1~3年午前授業 就学時スクリーニング検査
3	土	
4	日	
5	月	講話朝会(後期始業式) ほかほかタイム(~10/16)
6	火	短縮日課 社会見学(2年)
7	水	クラブ
8	木	短縮日課
9	金	通常日課 北方領土学習(4年)「真龍の子」回収メ切
10	土	
11	日	
12	月	祝日 スポーツの日 学級レク(2年)
13	火	短縮日課 学習発表会特別時間割開始
14	水	自主勉強交流(真小タイム) 児童委員会
15	木	短縮日課
16	金	短縮日課 厚岸警察署玄関下校見守り スクールカウンセラー来校日 小中連携出前授業(6年)
17	土	
18	日	
19	月	SST⑥(真小タイム)
20	火	短縮日課
21	水	開校記念日
22	木	短縮日課 美書展兼町民文化祭(~25日) 色覚検査(~11/20)
23	金	短縮日課
24	土	町民文化祭・厚岸町小中学校美術書道展
25	日	
26	月	少年団体育館使用禁止(~31日)
27	火	短縮日課
28	水	
29	木	短縮日課 学習発表会(児童公開日) 真中生職場体験
30	金	短縮日課 真中生職場体験
31	土	学習発表会(保護者公開日)

10月の帰宅時刻 17:00

暗くなるのも早くなりました。帰宅時刻前でも自転車のライトを早めに点灯するなど、安全に一層気をつけるようご家庭でもご指導お願いします。



真龍小ホームページ！

真龍小ホームページはこちらの二次元コードから、ご覧いただけます。

教室を飛び出して、地域から学びます！

10月には、地域に出かけて学ぶ機会がたくさんあります。1日(木)は2年生がイオン、3年生が消防署、6日(火)は2年生が海事記念館で学習します。また、9日(金)には、4年生がバスに乗って根室に行き、北方領土について学びます。実際に見たり、聞いたり、質問したりする体験は、教室での学習をより確かなものにします。地域の皆様のご協力をいただきながら、ふるさと厚岸への理解も深めていきます。



力を合わせて！学習発表会



10月13日(火)から、学習発表会に向けた特別時間割が始まります。発表を完成させることだけでなく、友達と考えを出し合ったり、何度も練習したりする過程も大切な学習です。一人一人が自分の役割をもち、仲間と力を合わせながら、「できた！」という達成感を味わえる学習発表会を目指します。29日(木)の児童公開日に続き、31日(土)が保護者公開日です。当日の詳しい日程や参観方法等については、改めてお知らせいたします。子どもたちの頑張る姿を、ぜひ会場でご覧ください。皆様のご来校をお待ちしています。

小さなサインを見逃さないために！

9月には、全校児童を対象にQ-U,いじめアンケートを実施しました。また、児童・教職員・保護者による学校評価アンケートも実施しております。10月には、それらの結果と日頃の学校生活の様子を重ね合わせながら、児童一人一人の状況を確認し、改めて授業や学校での日常をよりよいものに改善していきます。教職員で情報を共有し、子どもたちが安心して過ごせる学校づくりにつなげていきます。学校評価アンケートの結果については、別紙にてお知らせいたします。



10月21日は、開校記念日です



真龍小学校は、明治18年(1885年)10月21日、「厚岸郡朝曦小学校真龍分校」として開校し、今年で141周年を迎えます。明治33年には廃校の危機に直面しましたが、地域の方々が財を出し合って校舎を新築し、学校を守った歴史があります。その後、幾度もの校舎改築や近隣校との統合を経ながら、地域とともに歩んできました。先人の思いを受け継ぎ、これからも子どもたちと真龍小学校の新しい歴史を刻んでいきます。開校記念日は、ぜひ、児童・教職員はもちろん、ご家庭の皆様にも、真龍小学校の歴史や地域とのつながりを考える一日にしていきたいと思います。

真龍おはなし隊・学校司書の【今月のおすすめ本】

『注文の多い料理店』

宮沢賢治/作、和田誠/絵(岩崎書店)

【おすすめ人】真龍おはなし隊 山本 麻衣

この本は、私が小学2年生で出会った、とても興味深いものでした。

『注文の多い料理店』一扉の向こうに待っていたもの。宮沢賢治の代表作の一つである『注文の多い料理店』。タイトルだけを見ると、お客さんの注文が多い、人気のレストランを想像するかもしれません。ところが、この物語に登場する料理店は、私たちが思い描く料理店とは、少し、いや、かなり違います。

物語は、二人の若い紳士が山へ狩りに出かけるところから始まります。二人は山の中で道に迷い、連れてきた猟犬もいなくなってしまう。疲れ果て、お腹を空かせた二人の前に現れたのが、一軒の西洋料理店「山猫軒」です。

「こんな山の中に料理店があるなんて、なんて運がいいんだろう」と、二人は喜んで店の中に入っていきます。ところが、そこか様子がおかしくなっています。

「帽子と外套をお取りください」「靴を脱いでください」など、扉を進む度に奇妙な注文が書かれています。それでも二人は料理を食べたい一心で、その注文に従っていきます。

読者は次第に、「これは普通の料理店ではないのでは？」と気づき始めます。そして、二人が「料理を注文する側ではなく、料理をされる側」だとわかった瞬間、この物語の面白さと怖さが一気に増していきます。

『注文の多い料理店』の魅力は、単なる怖い話ではないところにもあります。自分たちはお客だから大丈夫だ、自分たちの方が立場が上だ…そんな二人の思い込みや、人間の欲深さが、ユーモラスで少し皮肉に描かれています。

何度読んでも面白いのは、結末を知ってから読み返すと、最初の何気ない場面や「注文」の一つ一つが、全く違った意味に見えてくるからです。

山の中にひっそりと建つ、不思議な料理店。扉の向こうには、いったい何が待っているのでしょうか。ちょっと怖くて、ちょっと笑えて、そして、読み終えたあとに「人間て面白いな」と考えさせられる。それが宮沢賢治の『注文の多い料理店』です。

※学校図書館に所蔵があります



スクールカウンセリング受けてみませんか？

第4回 10月16日(金) 8:30~11:30
(申込10/14(水)まで)

スクールカウンセラーに、子育ての悩みや、お子様の学校生活のことなど、相談してみませんか。お子様だけでも、保護者だけでも、親子一緒でも、相談可能です。こちらの二次元コードからお申し込みください。担当が調整し、確定のご連絡をいたします。(担当 教頭)



令和8年度真龍小スクールカウンセリング今後の予定

第5回 11月17日(火) 8:15~11:15
第6回 12月9日(水) 8:30~11:30
第7回 1月14日(木) 8:30~11:30
第8回 2月9日(火) 8:30~11:30